

音声ガイド：満明寺

振り返って南の方へ通りを下ると、丘へと続く階段が見える。ここは満明寺の入り口で、満明寺は雲仙で一番古くて重要なお寺だ。

そばに石の柱が見えると思うが、そこには名前がいくつか彫ってあり、それは寺や崇拝する山の名前だ。そのうちのひとつが「温泉山（うんぜんさん）」だが、現在、雲仙に当てられた漢字とは違う！1934年に国立公園の指定を受けたとき、他の土地と混乱を避けるため、新しい漢字を選ぶ必要があった。「うんぜん」という読み方をする漢字が選ばれたが、「雲の中の仙界」という意味だ。

山脈はかつて、単に「日本山（にほんさん）」、日本の山として知られていた。中国から海を渡り、目的地に近づく船員たちが目にする最初のものが島原半島の山々だったからだ。

階段を上り、しばらく頂上から町の風景を楽しんで。ここでもまた、町を一体化して見せる伝統的な建築要素が見える。それは雲仙発祥の宿に影響を受けた白壁と赤い屋根だ。多くは20世紀初め頃に建てられのだが、その頃、上海やそれより遠くに住む裕福な西洋人が夏の避暑地として雲仙を訪れ始めた。